

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月15日

事業所名 olive

|  | チェック項目   | はい     | どちらとも<br>いえない | いいえ   | 工夫している点                              | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標  |
|--|--|--------|---------------|-------|--------------------------------------|---|
| 環境・<br>体制整備                                  | 1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である                                  | 87.5%  |               | 12.5% | ・定期的にロッカーやイスなどの配置換えをし、活動スペースを確保している。 | ・宿題時に段ボールなどで囲いを作るが、音は遮断出来ないため離れたところにスペースが必要だと思った。<br>・個々に合わせた環境づくりを検討し話し合っています。 |
|  | 2 職員の配置数は適切である   | 75%    | 25%           |       |                                      | ・利用児が安心して過ごせるよう状況に合わせて個別対応していきます。   |
|  | 3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている                           | 75%    | 25%           |       |                                      | ・利用状況を踏まえ改善点を話し合い検討していきます。  |
| 業務改善   | 4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している                | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・都度、目標確認や振り返りはしているが、その場に居ない職員に共有出来ていない事もある。<br>・連職員間での連絡ノートを活用し、情報共有していきます。     |
|  | 5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている     | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・アンケートを基に職員間で話し合い業務改善へ反映していきます。   |
|  | 6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している                           | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・ホームページに公表されていることを職員、保護者へ周知していきます。  |
|  | 7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている                             | 62.5%  |               | 37.5% |                                      | ・第三者評価を取り入れ、業務改善や職員の質の向上に努めていきます。   |
|  | 8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している                                | 100%   |               |       |                                      | ・頻回ではない。<br>・定期的に出来るよう検討していきます。   |
| 適切な<br>支援の<br>提供                             | 9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している | 100%   |               |       |                                      |   |
|  | 10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している                | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・アセスメントツールの利用、提示の仕方など、職員間で話し合い周知していきます。   |
|  | 11 活動プログラムの立案をチームで行っている                                      | 100%   |               |       |                                      |   |
|  | 12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している                                    | 100%   |               |       |                                      | ・同様の活動でも個々にステップアップを図っている。<br>・手先を使うなど発達を促せそうな活動を考え、ネット情報なども参考にしながら活動を決めています。    |
|  | 13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している                        | 37.50% | 62.50%        |       |                                      | ・活動プログラム立案時、利用児の状況に応じた課題を設定し支援していきます。   |
|  | 14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している           | 100%   |               |       |                                      |   |
|  | 15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している            | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・打ち合わせの時間の際に、役割分担の確認を行っています。  |
|  | 16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している       | 100%   |               |       |                                      | ・活動や支援の振り返りを行い、業務改善に繋げていきます。<br>・休日の職員やパート職員にも共有し、切れ目のない支援を行っています。              |
|  | 17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている                   | 87.5%  | 12.5%         |       |                                      | ・記録のとり方について、職員間で情報共有し支援の検証・改善に繋げていきます。  |
| 18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している | 100%   |        |               |       |                                      |   |
| 19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている            | 62.5%  | 37.5%  |               |       | ・ガイドラインの基本活動を明確化し、情報共有していきます。        |   |

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 4年 3月15日

事業所名 olive

|              | チェック項目  | はい     | どちらとも<br>いえない | いいえ    | 工夫している点            | 課題や改善すべき点を踏まえた<br>改善内容又は改善目標                                |
|--------------|---|--------|---------------|--------|--------------------|---|
| 関係機関や保護者との連携 | 20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している                              | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている          | 87.5%  | 12.5%         |        |                    | ・学校との情報共有に努め、保護者や職員間で周知し支援しています。                            |
|              | 22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている                                      | 50%    | 37.5%         | 12.5%  |                    | ・医療ケア児を受け入れる際は配慮していきます。                                     |
|              | 23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている                         | 87.5%  |               | 12.50% | 送迎時での確認、モニタリングへの参加 | ・モニタリングでの内容を職員間で情報共有していきます。                                 |
|              | 24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している              | 37.5%  | 50%           | 12.5%  |                    | ・利用状況を踏まえ話し合い情報共有していきます。                                    |
|              | 25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている                                   | 37.5%  | 63%           |        |                    | ・研修内容を共有できるように検討していきます。                                     |
|              | 26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある  | 12.5%  | 25%           | 63%    |                    | ・コロナ禍であり、今後の取り組み課題となっています。実現できる形を検討していきます。                  |
|              | 27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している  |        | 87.5%         | 12.5%  |                    | ・開催予定があれば参加します。   |
|              | 28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている                                 | 87.50% | 12.50%        |        |                    | ・モニタリングや送迎時の引継ぎ時などで保護者と情報共有し、職員間での周知を図っています。                |
|              | 29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている                                | 25%    | 50%           | 25%    | 研修の案内など情報発信をしています。 | ・研修への促や、声かけを行っていきます。  |
| 保護者への説明責任等   | 30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている   | 87.50% | 12.50%        |        |                    | ・運営規程、支援の内容、利用者負担等について職員間で確認し情報共有していきます。                    |
|              | 31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている                                       | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している                                   | 12.5%  | 50%           | 37.5%  |                    | ・コロナ禍であり開催できず。今後の取り組み課題となっており話し合い屋外など年に1~2回実現できる形を検討していきます。 |
|              | 33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している             | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している                               | 75%    | 12%           | 12%    |                    | ・活動の様子なども発信が出来るようにツールの検討をしています。                             |
|              | 35 個人情報に十分注意している  | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている   | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている   | 12%    | 25%           | 62.50% |                    | ・地域との繋がり方を検討していきます。   |
| 非常時等の対応      | 38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している                                | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている   | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている   | 100%   |               |        |                    |   |
|              | 41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している | 75%    | 25%           |        |                    | ・事例を挙げ、保護者の対応なども合わせ話し合っ検討します。<br>・支援計画への記載は保護者へ確認していきます。    |
|              | 42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている   | 88%    | 12%           |        |                    | ・管理体制や緊急時対応を情報共有していきます。                                     |
|              | 43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している  | 75%    | 25%           |        |                    | ・事例集の保管場所が共有されていないため、書式と保管場所の共有を<br>していきます。                 |